

「死に方」は選べない。だけど「死までの過ごし方」は選べる。



施設・在宅での 看取りケアの段取りと実践

予後を見立てることの重要性とその方法を理解

介護施設、在宅、居住系施設等での看取りが増えています。そこでは穏やかに自然なまま看取ることが期待されますが、それは「何もしない」ということではありません。理想的な看取りにするためには段取りが必要です。理想的な看取りのために必要なこと、看取り体験を職員の成長にどうつなげるかを提示します。

川上嘉明氏 東京有明医療大学 看護学部 看護学科
大学院 看護学研究科 教授

看護師、社会福祉士、介護支援専門員。日本社会事業大学社会福祉学研究科博士前期課程、千葉大学看護学研究科高齢社会実践看護学教育研究分野博士後期課程修了。病院看護師、訪問看護師、在宅介護支援センター長、特別養護老人ホーム施設長として約20年間の臨床経験の後、現職。著書に『自然死を創る終末期ケア』（現代社）、『穏やかに逝く』（環境新聞社）、『自然死への看取りケア』（メディカ出版）、『家で死んでもいいんだよ』（法研）などがある。

施設・在宅・居住系それぞれの場での看取りを学ぶ

プログラム

1. 現代日本における「死」と看取りの場の混乱
2. 理想的な看取りを組み立てる
 - 1) 「看取り」ケアの重要な視点
 - 2) 病院、施設、在宅という場の選択
3. 人はこのように死んでいく
 - 1) 看取りまでの軌道
 - 2) 予後を見立てるということ
4. 看取り計画を立ててマネジメントする
～施設、在宅、居住系それぞれの支援態勢づくり
 - 1) 看取りを支える体制づくりについて
 - 2) 関係者との合意形成
 - 3) 看取りの大まかなシナリオを描く
5. 理想的な看取りを実現するために
覚えておきたいこと
 - 1) 「食べない」「飲まない」から死に至るのではない
 - 2) 穏やかに生きていられるように「引き算」のケアをする
 - 3) 看取りでの「急変」は、救命が必要な「急変」ではない
 - 4) 先手を打って変化の予測を家族に伝えておく
 - 5) 「その時」がいつなのかは誰もわからない
6. 看取り体験を成長につなげる
 - 1) よい看取りの経験で家族が成長する
 - 2) 看取りの経験で職員も成長する
 - 3) 看取りのモデルを地域に提示する

東京 22年 2月19日(土) 10:00~16:00 [6]

[会場] 日総研 研修室(廣瀬お茶の水ビル) 千代田区神田駿河台2-1-47

参加料 税込 一般 19,000円 会員 16,000円
※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数12人。

このセミナーの詳細はインターネットで検索!

日総研 14883

検索

関連雑誌

Web教材+隔月刊誌(定期刊行物・会員制)

認知症看護と看取りの実践・教育に!

臨床 老年看護

B5判 112頁
入会金 3,000円
年間購読料
18,900円(共に税込)

- 今後の特集
- ケアやリハビリテーションを拒否する認知症高齢者への対応[9-10月号]
 - 認知症の予防やケアに活かす回想法・ライフレビュー[9-10月号]
 - withコロナ時代の面会と家族ケア[9-10月号]
 - 認知症に関する幅広い知識を身につける[11-12月号]
 - 高齢者の運動器疾患の正しい理解と対応[11-12月号]

17年連続合格者数全国No.1!

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

社会福祉士養成所 通信課程

4月開講! 募集要項はダウンロードできます

日総研 社会福祉士 検索

日総研 接遇大賞

優れたサービス
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞 検索

お問合せ
ご注文

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索